


平成21年度 三次市行政評価

事務事業評価一覽 2次評価結果

平成21年11月

 三 次 市

評価別集計

| | 【参考】 H19年度評価 | | 【参考】 H20年度評価 | | 1次評価 | | 2次評価 | |
|----|-----------------|--------|-----------------|--------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 事務 事業数 | 割合 | 事務 事業数 | 割合 | 事務 事業数 | 割合 | 事務 事業数 | 割合 |
| 拡大 | 35 | 9.3% | 52 | 17.0% | 47 | 18.0% | 19 | 7.3% |
| 縮小 | 36 | 9.6% | 14 | 4.6% | 7 | 2.7% | 13 | 5.0% |
| 継続 | 291 | 77.4% | 227 | 74.2% | 199 | 76.2% | 219 | 83.9% |
| 終了 | 12 | 3.2% | 10 | 3.3% | 6 | 2.3% | 9 | 3.4% |
| 廃止 | 2 | 0.5% | 3 | 1.0% | 2 | 0.8% | 1 | 0.4% |
| 合計 | 376 | 100.0% | 306 | 100.0% | 261 | 100.0% | 261 | 100.0% |

分野別評価項目数

| 分野 | 施策 | 【参考】 H19年度 評価項目数 | 【参考】 H20年度 評価項目数 | H21年度 評価項目数 |
|----------|-----------------|------------------------|------------------------|----------------|
| 第1 こども | 1. 子育て | 29 | 34 | 29 |
| | 2. 教育 | 14 | 17 | 15 |
| 小計 | | 43 | 51 | 44 |
| 第2 健康・福祉 | 1. 保健 | 8 | 7 | 7 |
| | 2. 福祉 | 19 | 28 | 25 |
| | 3. 医療 | 11 | 10 | 14 |
| 小計 | | 38 | 45 | 46 |
| 第3 文化・学習 | 1. 住民自治・生涯学習 | 24 | 16 | 10 |
| | 2. 芸術・文化 | 6 | 5 | 2 |
| | 3. 平和・人権・男女共同参画 | 7 | 6 | 5 |
| | 4. スポーツ | 4 | 4 | 4 |
| 小計 | | 41 | 31 | 21 |
| 第4 産業・経済 | 1. 観光 | 2 | 2 | 1 |
| | 2. 農林畜産業等 | 55 | 32 | 29 |
| | 3. 商工業 | 13 | 17 | 19 |
| 小計 | | 70 | 51 | 49 |
| 第5 環境 | 1. 環境保全・資源循環 | 11 | 8 | 11 |
| | 2. 防災・安全 | 15 | 15 | 12 |
| | 3. 地域交通 | 30 | 15 | 9 |
| 小計 | | 56 | 38 | 32 |
| 第6 都市 | 1. 州都への道のり | 4 | 4 | 2 |
| | 2. 高度情報化 | 9 | 7 | 7 |
| | 3. 都市の魅力づくり | 37 | 34 | 24 |
| | 4. 市役所改革 | 78 | 45 | 36 |
| 小計 | | 128 | 90 | 69 |
| 合計 | | 376 | 306 | 261 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次評価判断理由 |
|----|-----------------|-------|-----|------------|------------|---------|---------|----------------|-------------|----------------|------------|----------------|-------------|----------------|--------------|--|
| 1 | 第3子目以降保育料無料化 | 保育課 | こども | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 市民のニーズも高い事業であり、今後も継続して実施する。 |
| 2 | こども発達支援センター運営事業 | 育児支援課 | こども | 事業拡大 | 拡大 | 25 | B | 拡大 | 人員 | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 理学療法士・言語療法士などによる専門相談体制を継続するため、人材確保、専門機関との連携を図る必要がある。 |
| 3 | つどいの広場設置事業 | 育児支援課 | こども | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | その他 | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 利用者も増加していることから、継続して事業を実施する。実施場所も含め、使用料については検討が必要。 |
| 4 | 乳幼児等医療費助成事業 | 育児支援課 | こども | 要改善 | 継続 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 子育てに係る保護者の負担軽減の観点からも継続して実施する必要がある。 |
| 5 | 乳幼児予防接種費助成事業 | 健康推進課 | こども | 継続 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 引き続き関係機関とも連携し、市民に対して制度の周知を図る。 |
| 6 | 子育てサポート事業 | 育児支援課 | こども | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 有り | 3 民間委託等の推進 | 継続 | | 有り | 3 民間委託等の推進 | 会員数の増加からも、市民のニーズ及び成果があるため、継続して事業を実施する。民間委託に向けた検討を行う。 |
| 7 | 妊産婦健診助成事業 | 健康推進課 | こども | 継続 | 拡大 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 本事業により適正な受診につながるもので、継続して実施するとともに、助成による効果の検証も今後必要である。 |
| 8 | 病後児保育事業 | 育児支援課 | こども | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 市民ニーズの多い事業であり、人材確保も含めサービスの向上に努める。 |
| 9 | 未熟児訪問事業 | 健康推進課 | こども | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 対象児の早期把握、指導内容の充実・継続のためにも関係機関とのネットワークを強化する必要がある。 |
| 10 | 不妊治療費助成事業 | 健康推進課 | こども | 事業拡大 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 少子化対策の面からも必要な事業であり、継続して実施する必要がある。 |
| 11 | 新生児訪問 | 健康推進課 | こども | 未実施 | 継続 | 28 | A | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 育児に不安を抱える保護者に対する支援であり、家庭訪問による個別指導という手法は効果的である。対象世帯の把握から、指導内容・指導の継続といった面を今後も充実させていく必要がある。 |
| 12 | 児童相談センター事業 | 育児支援課 | こども | 現状維持 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 市の児童に関する相談窓口としての体制の充実及び機能強化に向けて、人材育成を図る。 |
| 13 | 市街地公園整備事業 | 都市整備課 | こども | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 事業の周知をしっかりと行い、地域の憩いの場、交流の場である公園を整備する。今後も応募がないようであれば、事業の継続について検討する必要がある。 |
| 14 | 5歳児相談事業 | 育児支援課 | こども | 未実施 | 未実施 | 25 | B | 拡大 | 人員 | 有り | 13 サービスの向上 | 拡大 | 人員 | 有り | 10 内容の改善 | 早い段階での発見が適切な支援につながることから、研修等による保育士のスキルアップ、支援チーム等関係機関との連携と強化して事業展開を図る必要がある。 |
| 15 | 一時保育事業 | 保育課 | こども | 現状維持 | 継続 | 20 | C | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 子育て環境を充実させるためにも事業を継続して実施する。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次評価判断理由 |
|----|------------------|-------|-----|------------|------------|---------|---------|----------------|-------------|----------------|------------|----------------|-------------|----------------|--------------|--|
| 16 | 延長保育推進事業 | 保育課 | こども | 事業拡大 | 継続 | 19 | C | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 保護者の就労形態の多様化等により必要とされている事業であり、子育て環境を充実させるためにも事業を継続して実施する。 |
| 17 | 特定保育事業 | 保育課 | こども | 継続 | 継続 | 20 | C | 継続 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 保護者の就労形態の多様化等により必要とされている事業であり、子育て環境を充実させるためにも事業を継続して実施する。 |
| 18 | 3歳未満児保育 | 保育課 | こども | 事業拡大 | 拡大 | 21 | C | 拡大 | 事業規模 | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 未実施の保育所についても、保育ニーズに応じて必要な施設整備の必要はある。 |
| 19 | ふるさとランチ推進事業 | 保育課 | こども | 継続 | 継続 | 23 | B | 拡大 | 事業規模 | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 食の安全の大切さ、地産地消の意義等を児童だけでなく保護者にも理解してもらい、家庭においても実践されるよう啓発を行う。 |
| 20 | 新保育所建設事業 | 保育課 | こども | 未実施 | 拡大 | 26 | B | 拡大 | 事業規模 | 無し | 9 事業の迅速化 | 終了 | | 無し | | 早期完成を目指し、事業を実施していく。 |
| 21 | 障がい児保育事業 | 保育課 | こども | 未実施 | 継続 | 24 | B | 拡大 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 障がいを持つ子どもの保護者にとって事業に対するニーズは高く、事業を継続する必要がある。 |
| 22 | 小規模型放課後児童クラブ補助事業 | 育児支援課 | こども | 未実施 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 未実施地区の解消と、引き続き本事業の運営、指導員等を確保するためにも補助を継続して実施する必要がある。 |
| 23 | 女性キャリアアッププラン事業 | 育児支援課 | こども | 要改善 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 縮小 | その他 | 有り | 10 内容の改善 | 事業の周知方法については見直しが必要である。また、事業費に対する人件費の割合が高いため、事業の実施方法について改善が必要である。 |
| 24 | ひとり親家庭等医療費助成制度 | 育児支援課 | こども | 継続 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | ひとり親家庭を支援するために引き続き事業を実施し、公平性の確保のためにも受給資格者の確認方法を今以上に適確に行う必要がある。 |
| 25 | 放課後児童健全育成事業 | 育児支援課 | こども | 要改善 | 拡大 | 22 | B | 拡大 | その他 | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 指導員の確保、資質の向上を図りながら事業を継続して実施する必要がある。 |
| 26 | 保育所耐震化診断 | 保育課 | こども | 未実施 | 未実施 | 26 | B | 拡大 | 事業規模 | 無し | 9 事業の迅速化 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 安全な施設で安心した保育を提供する必要がある、計画的に事業を進める必要がある。 |
| 27 | 青少年育成事業 | 地域振興課 | こども | 継続 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 市民のニーズ、今日的課題を的確につかみ、関係機関、地域、家庭との連携や役割分担を整理して実効ある補助をすすめる。また補助団体の自主性を強化する。 |
| 28 | 結婚コーディネーター事業 | 育児支援課 | こども | 継続 | 事業縮小 | 20 | C | 継続 | | 有り | 3 民間委託等の推進 | 継続 | | 有り | 3 民間委託等の推進 | 定住対策につながる事業であり、より効果的に事業を実施するため、所管の見直し、民間への委託について検討する必要がある。 |
| 29 | 地域子育て支援センター運営事業 | 育児支援課 | こども | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 利用者数、相談件数からも事業継続の必要性がある。よりよいサービスを提供するため人材育成に取り組む。 |
| 30 | 中学校給食業務改善対策事業 | 教育企画課 | こども | 事業縮小 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 縮小 | その他 | 有り | 3 民間委託等の推進 | コスト削減と食育推進に取り組む。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|----|-------------------------------|-------|-----|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|----------|------------|-------------|----------------|----------|---|
| 31 | 小中学校リニューアル事業 (耐震診断・補強・改築等) | 教育企画課 | こども | 未実施 | 拡大 | 28 | A | 拡大 | 人員 | 有り | 9 事業の迅速化 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 学校生活における児童・生徒の安全性の確保のため、早期の耐震化が必要である。 |
| 32 | のびのび学級三次プラン推進事業 | 学校教育課 | こども | 事業拡大 | 継続 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 着実に成果は上がっており、今後指導方法の改善、優秀な人材の確保に努めていく必要がある。 |
| 33 | 教職員資質向上事業 | 学校教育課 | こども | 事業拡大 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 成果は着実に上がってきていることから、今後研修内容について改善を図りながら、教職員のさらなる資質向上を目指す。 |
| 34 | 学力到達度検査事業 | 学校教育課 | こども | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 成果は上がってきていることから、検査の結果を踏まえ、今後も授業内容を工夫・改善していく。 |
| 35 | 教育都市みよしスーパーアップ事業 | 学校教育課 | こども | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 成果は上がってきており、個々の学校の実態に即した指導・助言を得ることができる事業でありため、効果の検証を行い、次期へつなげていく必要がある。 |
| 36 | 「生き生き学校」予算推進事業 | 学校教育課 | こども | 未実施 | 未実施 | 25 | B | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 個々の学校の実体に応じた教育を実施することで、教職員や児童生徒の意欲と学力の向上につなげていくことが必要。 |
| 37 | 特別支援教育推進事業 | 学校教育課 | こども | 継続 | 拡大 | 24 | B | 拡大 | 事業規模 | 無し | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 今後も支援体制の充実にむけ、関係機関と連携した相談体制、指導内容の充実に取り組んでいく必要がある。 |
| 38 | 不登校1/2作戦 | 学校教育課 | こども | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | これまでの取り組みを検証し、成果の上昇した実践・取り組みについて広げていくとともに、改善により取り組みをさらに充実させる必要がある。 |
| 39 | 幼保小連携推進事業 | 学校教育課 | こども | 未実施 | 継続 | 22 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 14 成果の向上 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 14 成果の向上 | 幼稚園、保育所、小学校が連携することによって、幼児期からの一貫した支援体制を充実させ、こどもの健全な発育に努める必要がある。 |
| 40 | いじめ対策アクションプラン | 学校教育課 | こども | 未実施 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 教育環境を整えるため、いじめの防止、早期発見を保護者と連携しながら実施していく必要がある。 |
| 41 | 学校支援員配置事業 | 学校教育課 | こども | 未実施 | 未実施 | 22 | B | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 個々の学校の課題に即した教育活動を支援するためにも、一層の充実を図る必要がある。 |
| 42 | 小中学校英語活動推進事業 | 学校教育課 | こども | 事業拡大 | 拡大 | 25 | B | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 学力検査の結果を踏まえて、授業内容等を改善し外国語教育の充実を図る必要がある。 |
| 43 | 「ことばフェスタ」の開催 | 学校教育課 | こども | 未実施 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 子どもたちが自分の考えを言葉にする、表現する力を身につけることは、将来社会人として生きていくうえで非常に重要なことであることから、保護者にたいしてもことばの重要性を認識してもらう必要がある。 |
| 44 | キャリア教育推進事業 | 学校教育課 | こども | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無し | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 子どもたちが将来の目標を選択したり・決定できる能力の育成や望ましい職業観勤労意識を育てるためには重要な事業である。これまでの実績を検証しながら、より効果的な事業を実施していく必要がある。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|----|----------------|--------|------|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|--------------|------------|-------------|----------------|--------------|---|
| 45 | 食育推進事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 24 | B | 拡大 | 人員 | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 食生活改善推進員の育成や活動を支援し、事業内容を充実させる必要がある。 |
| 46 | 国保被保険者人間ドッグ事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 21 | C | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 費用対効果の面からも対象者を制限する(国民健康保険の世帯)必要はある。 |
| 47 | 在宅健康管理システム事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 19 | C | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | CATV等を利用したシステムの検討は必要であるが、受益者の費用負担についても見直しが必要である。 |
| 48 | 食生活改善推進員事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 23 | B | 拡大 | 予算額 | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 全市的な取り組みが実施されるよう研修内容等を検証する必要がある。 |
| 49 | 総合集団健康診査事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 事業縮小 | 継続 | 19 | C | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 市内の医療機関の活用も含め、受診機会を増やす対策も必要。また検診後の事後指導や予防事業へも関係課との連携を強化する必要がある。 |
| 50 | 介護予防普及啓発事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 継続 | 拡大 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 介護予防の必要性については理解されていると思われるが、参加しやすい環境を整備し、普段の生活の中での実践につなげる必要がある。 |
| 51 | 地域トレーニング拠点整備事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 事業拡大 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 縮小 | その他 | 有り | 15 効果の検証 | 身近に運動できる環境の整備は必要であり、継続して取り組むとともに、利用実態の検証も必要である。 |
| 52 | 手話奉仕員養成事業 | 社会福祉課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 必要な事業であり、奉仕員の確保に向け事業内容の見直しが必要。 |
| 53 | 高齢者共同生活施設支援事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 在宅生活困難者への支援施設として社会的ニーズは高い。運営費については類似施設の経費と勘案しながら見直しを図る。 |
| 54 | 健康福祉まつり | 社会福祉課 | 保健福祉 | | | 21 | C | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | より多くの市民に参加してもらい、「健康と福祉」について考えてもらうきっかけとなるよう、内容等について考えていく必要がある。 |
| 55 | ふれあい収集事業 | 環境政策課 | 保健福祉 | 事業拡大 | 継続 | 26 | B | 拡大 | 人員 | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 関係機関との連携し、高齢者や障害のある方が安心して日常生活が送れる社会の実現をめざす。 |
| 56 | 障害者生活支援事業 | 社会福祉課 | 保健福祉 | 事業拡大 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 障害のある人の地域生活を実現するため、地域の関係機関とのネットワークを構築し、必要な社会資源の開発、改善が必要である。 |
| 57 | CATV利用料の軽減助成事業 | 社会福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 継続 | 21 | C | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 障害者向け情報伝達的手段として、CATVを活用した積極的な情報発信に努める。 |
| 58 | 腎臓障害者通院助成金支給事業 | 社会福祉課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 今年度から助成の内容を見直しており、今後効果の検証等を行う。 |
| 59 | 障害児生活訓練事業 | 社会福祉課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 見守りの場としてでなく、生活訓練の場となるよう内容について検討していく必要がある。そのためには介助員だけでは対応できないため、人材確保に向けボランティア育成の取り組みも必要。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 改善区分 | 2次評価判断理由 | |
|----|-----------------|--------|------|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|--------------|------------|-------------|--------------|--|--|
| 60 | 障害者福祉タクシー利用助成事業 | 社会福祉課 | 保健福祉 | 継続 | 拡大 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 14 成果の向上 | 今年度より助成内容の見直しを行っている。今後成果の検証を行う必要がある。 | |
| 61 | 障害者地域活動支援センター事業 | 社会福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 拡大 | 24 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 10 内容の改善 | 障害のある人の地域生活支援として必要な事業であり、活動の場が増え利用者が拡大するよう委託料の基準の検証等が必要である。 | |
| 62 | 障害者住宅改修費助成事業 | 社会福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 無し | 10 内容の改善 | 継続 | | 10 内容の改善 | 障害のある人の地域生活実現に向け、事業周知の方法等について検討するとともに、対象となる講じないようについても検討が必要。 | |
| 63 | 成年後見制度利用支援事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 継続 | | 13 サービスの向上 | 今後、成年後見制度の利用者は増加することが予想されるため、利用対象者の所得基準等の基準を早急運に整備する。 | |
| 64 | 緊急通報システム事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 継続 | 28 | A | 継続 | | | | 継続 | | 15 効果の検証 | 高齢者等の実態に応じた制度でもあるので継続して実施する。 | |
| 65 | 敬老金支給事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 事業縮小 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 継続 | | 10 内容の改善 | 長寿を祝福する事業でもあるので、継続して実施する必要はあるが、対象者の年齢、支給方法については検討する必要がある。 | |
| 66 | 高齢者介護慰労金支給事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 事業縮小 | 縮小 | 22 | B | 縮小 | | 有り | 12 終期の設定 | 継続 | | 10 内容の改善 | 他の行政サービスへの移行を検討するとともに、介護者の負担軽減につながる情報提供等のサポートを検討する必要がある。 | |
| 67 | 高齢者外出支援サービス事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 13 サービスの向上 | より必要な高齢者へサービスが提供できるよう検討が必要。 | |
| 68 | 「食」の自立支援事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 24 | B | 拡大 | 人員 | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 15 効果の検証 | 利用者のニーズにあったサービス提供ができるよう内容の見直しを行い、他のサービスとの利用調整を図る。 | |
| 69 | 元気ハツラツ教室事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 継続 | | 10 内容の改善 | 介護予防につながる事業であり、参加しやすい環境を整備する必要がある。 | |
| 70 | 高齢者見守り隊事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 継続 | 28 | A | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 継続 | | 4 市民の多様な力の活用 | 民生委員、児童委員、自治組織、老人クラブ、消防団等と連携し、地域支援ネットワークの強化・構築を進める必要がある。 | |
| 71 | 高齢者実態調査システム事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 縮小 | その他 | 有り | 災害時等の要支援者把握につながる体制の整備と、情報の更新・管理に対する対応が必要である。 | |
| 72 | 認知症高齢者生活支援事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 15 効果の検証 | 介護者の負担軽減につながる事業であるが、効果の検証が必要である。 | |
| 73 | 精神障害者就労促進事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 10 内容の改善 | 指導内容の充実を図り、障害のある人の社会参加を進めていく必要がある。 | |
| 74 | 高齢者福祉施設整備事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 29 | A | 継続 | | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 今後も、市が所有する遊休施設等を活用しながら、需要予測を行いつつ、施設の整備を行い、住み慣れた地域での生活の実現を目指す必要がある。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|----|-------------------|--------|------|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|------------|------------|-------------|----------------|------------|---|
| 75 | 介護給付適正化事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 23 | B | 拡大 | 人員 | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 今後、介護給付費の増加が見込まれている。介護認定、介護報酬請求が適正に行われるためにも、継続して実施する必要がある。 |
| 76 | 心身障害者就労促進事業 | 社会福祉課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続して、移行へ向けた取り組みを支援するとともに、委託料基準についても検討する。 |
| 77 | 地域連携業務 | 医事課 | 保健福祉 | 事業拡大 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 今後も連携を進めることにより、医療機関の役割にそった住み分けを行い、患者優先の医療体制を整えていく。 |
| 78 | レセプト点検事務 | 保険年金課 | 保健福祉 | 縮小 | 未実施 | 22 | B | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 医療費の適正化は強く求められている。レセプト点検員のスキルアップを図りながら実施する必要がある。 |
| 79 | 重度心身障害者医療費支給事業 | 保険年金課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 県によって対象者に違いがあるため、転入者等への制度の周知を徹底し、継続して事業を実施する。 |
| 80 | 特定健診業務 | 保険年金課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 25 | B | 拡大 | 人員 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 受診率の向上を図るため、関係課との連携を強化する必要がある。 |
| 81 | 特定保健指導業務 | 保険年金課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 24 | B | 拡大 | 人員 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 受診率の向上を図るため、関係課との連携を強化する必要がある。 |
| 82 | 適正受診の訪問啓発指導事業 | 保険年金課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 22 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 訪問指導にあたっては保健師と連携し、対象者に理解が得られる効果的な指導にする必要があるため、指導の内容についてスキルアップが必要。 |
| 83 | 休日夜間救急センター運営費補助事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 休日・夜間における診療機能として、今後とも支援を継続することは必要である。また、適正受診に関する啓発も必要。 |
| 84 | 救急医療拠点病院事業 | 病院企画課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 救急医療体制の確保及び充実を図る。 |
| 85 | 小児救急医療拠点病院事業 | 病院企画課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 小児救急医療体制の確保及び充実を図る。 |
| 86 | 医療施設整備事業 | 病院企画課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 7 施設の見直し | 継続 | | 有り | 7 施設の見直し | 計画的な整備を継続して実施する。 |
| 87 | 医療機器等整備事業 | 病院企画課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 急性期医療・高度医療を担う医療機関として器量機器の整備は必要であり、優先順位を定めるなど計画的に実施する。 |
| 88 | 認定看護師育成研修事業 | 病院企画課 | 保健福祉 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 引き続き研修を行い、中央病院職員の資質向上を図ることによって、住民満足度の高い病院をめざす。 |
| 89 | がん診療連携拠点病院事業 | 医事課 | 保健福祉 | 事業拡大 | 拡大 | 26 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 10 内容の改善 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 10 内容の改善 | 市民からのニーズも高いことから、地域医療機関とも連携し、患者にとって満足度の高い医療体制を確立する。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラ ン ク | 1次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次評価判断理由 |
|----|----------------|-------|------|------------|------------|---------|-------------|----------------|-------------|----------------|------------|----------------|-------------|----------------|----------|----------------------------|
| 90 | 手術室・サブライ業務委託事業 | 病院企画課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 25 | B | 継続 | | 有り | 2 徹底した情報公開 | 継続 | | 無し | | 効率的なサービスの実施の観点からも継続して実施する。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|------------------------------|-------|------|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|------------|------------|-------------|----------------|--------------|--|
| 91 | 地域集会施設整備事業 | 地域振興課 | 文化学習 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 地域の活動拠点として集会施設の整備は必要であり、計画的な事業実施を進める。 |
| 92 | 住民自治活動の推進 (まちづくりサポートセンター) | 君田支所 | 文化学習 | 未実施 | 拡大 | 21 | C | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | これまでの取り組みの検証しその結果を踏まえた今後の取り組みを検討していく必要がある。また、自治組織が主体となった取り組みを進めるための人材育成を図るとともに、君田の特色を活かした取り組みを進める。 |
| 93 | 住民自治活動の推進 (まちづくりサポートセンター) | 布野支所 | 文化学習 | 未実施 | 拡大 | 24 | B | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 自治組織が主体となった取り組みを進めるための人材育成を図るとともに、布野の特色を活かした取り組みを進める。 |
| 94 | 住民自治活動の推進 (まちづくりサポートセンター) | 作木支所 | 文化学習 | 未実施 | 拡大 | 28 | A | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 自治組織が主体となった取り組みを進めるための人材育成を図るとともに、自治組織のニーズに沿ったサポートの実施を行う。 |
| 95 | 住民自治活動の推進(まちづくりサポートセンター) | 吉舎支所 | 文化学習 | 未実施 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 特色あるまちづくりを行うため、自治組織のニーズに沿ったサポートを実施する。そのための職員の資質向上にも取り組む必要がある。 |
| 96 | 住民自治活動の推進(まちづくりサポートセンター) | 三良坂支所 | 文化学習 | 未実施 | 拡大 | 22 | B | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 特色あるまちづくりを行うため、自治組織のニーズに沿ったサポートを実施する。そのための職員の資質向上にも取り組む必要がある。 |
| 97 | 住民自治活動の推進 (まちづくりサポートセンター) | 三和支所 | 文化学習 | 未実施 | 拡大 | 19 | C | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 特色あるまちづくりを行うため、自治組織のニーズに沿ったサポートを実施する。そのための職員の資質向上にも取り組む必要がある |
| 98 | 住民自治活動の推進(まちづくりサポートセンター) | 甲奴支所 | 文化学習 | 未実施 | 拡大 | 22 | B | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 自治組織が主体となった取り組みを進めるための人材育成を図るとともに、特色あるまちづくりを行うため自治組織のニーズに沿ったサポートの実施を行う。そのための職員の資質向上にも取り組む必要がある。 |
| 99 | 自治振興活動費補助事業 | 地域振興課 | 文化学習 | 未実施 | 未実施 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 地域において自らの特色を活かした活動や、「地域まちづくりビジョン」の実現のためには、引き続き財政的な支援と合わせて、人づくりなど地域の自主性の育成も必要である。 |
| 100 | 市立図書館蔵書整備 | 社会教育課 | 文化学習 | 継続 | 継続 | 21 | C | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 市民のニーズに応えられるよう、今後も量的・内容的な充実を図る必要がある。 |
| 101 | 魅力あるスポーツ・文化振興事業 | 社会教育課 | 文化学習 | 現状維持 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | この事業の趣旨をさらに広く市民にPRし、事業を展開していく必要がある。 |
| 102 | 国際交流推進業務 (財団法人三次国際交流協会) | 秘書広報課 | 文化学習 | 継続 | 未実施 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 国際交流に関心をもってもらえるような講座やイベントを開催し、相互理解につながるよう継続して事業を実施する。 |
| 103 | 平和推進事業 | 地域振興課 | 文化学習 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 風化しつつある原爆と戦争の記憶を後世へ引き継ぐためにも、平和の尊さ生命の大切さについて、広く市民に啓発し参加を促進する、より効果的な手法の検討をする必要がある。 |
| 104 | 人権啓発事業 | 地域振興課 | 文化学習 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | より多くの市民の参加を促すように、引き続き開催場所、開催方法等を検討し、事業目的の実現に向け継続して取り組む必要がある。 |
| 105 | 市民無料法律相談 | 市民生活課 | 文化学習 | 継続 | 継続 | 21 | C | 拡大 | 予算額 | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 相談件数は微増していることから、受益者負担も考慮し、開催回数について検討する。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|------------------------------|-------|------|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|----------|------------|-------------|----------------|------------|--|
| 106 | 巡回啓発相談に関すること | 市民生活課 | 文化学習 | 未実施 | 未実施 | 20 | C | 廃止 | | 無し | | 廃止 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 出前講座などの開催に合わせて実施するなど、実施方法を検討し、巡回啓発相談は廃止を検討する。 |
| 107 | 男女共同参画推進事業 | 地域振興課 | 文化学習 | 継続 | 拡大 | 24 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 男女共同参画社会の実現のため引き続き啓発活動を実施するとともに、市民参加を図りながら関係施策と連携し進めていく必要がある。 |
| 108 | 小学生スポーツ振興事業 (小学校6年生陸上記録会) | 社会教育課 | 文化学習 | 継続 | 継続 | 19 | C | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 競技会の開催を通して児童の体力・運動能力・競技力の向上を図るだけでなく、運動を通じた人間形成の場となるよう今後も事業を展開する。 |
| 109 | 総合型地域スポーツクラブ設立育成支援 | 社会教育課 | 文化学習 | 事業拡大 | 拡大 | 20 | C | 拡大 | | 無し | | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 健康や体力づくりの面からも、スポーツができる環境の整備は必要であり、設立のための行政のサポートは重要である。 |
| 110 | 中学校クラブ活動ステップアップ事業 | 社会教育課 | 文化学習 | 継続 | 継続 | 18 | C | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 生徒のニーズを把握するとともに、保護者に対してもクラブ活動の大切さを理解してもらえよう事業を推進していく。 |
| 111 | みよし運動公園整備事業 | 都市整備課 | 文化学習 | 事業拡大 | 縮小 | 26 | B | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 縮小 | 事業規模 | 有り | 13 サービスの向上 | 県北のスポーツ・レクリエーション拠点施設であり、周辺施設と連携したイベント等の企画が必要。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 善性 の | 改善 区分 | 2次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 善性 の | 改善 区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|-------------------------------------|--------------|----------|------------|------------|---------|---------|----------------|-------------|---------------|----------------------|----------------|-------------|---------------|----------------------|--|
| 112 | 観光振興・情報発信事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 事業 拡大 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有 り | 4 市民の多 様な力の 活用 | 継続 | | 有 り | 15 効果の 検証 | これまでの事業効果を検証し、新たな事業の展開を進めていく。 |
| 113 | 「地産地消の店」認定業務 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 無 し | | 継続 | | 有 り | 14 成果の 向上 | 三次産農産物を食材として積極的に使用する認定店の拡大と、三次産農産物の消費拡大を図り、地産地消を推進する。 |
| 114 | 戦略的農業経営シンクタンク 設置事業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 終了 | | 無 し | | 終了 | | 有 り | 15 効果の 検証 | 効果を検証し、制度の内容を検討する。 |
| 115 | 園芸産地構造改革推進事業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 無 し | | 継続 | | 有 り | 15 効果の 検証 | 法人の経営基盤を強化する上でも稲作依存からの脱却は必要な事業である。 |
| 116 | 酪農・和牛支援対策事業 | 農政課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無 し | | 継続 | | 有 り | 10 内容の 改善 | これまでの取り組みにより、市内の繁殖雌牛群は一定以上のレベルに達している。酪農・畜産農家にとって後継者の育成、経営の安定につながる支援策を考える必要がある。 |
| 117 | 和牛の里創造事業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無 し | | 継続 | | 有 り | 10 内容の 改善 | 法人等へ事業の周知を図り、新たな和牛飼養者の増加、飼養頭数の拡大を図る。 |
| 118 | 新規就農者受入拡大事業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 21 | C | 終了 | | 無 し | | 終了 | | 有 り | 15 効果の 検証 | 効果を検証し、制度の内容を検討する。 |
| 119 | 農地保有合理化促進事業 | 農業委員会 事務局 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 26 | B | 終了 | | 有 り | 11 事務事業 の統合 | 終了 | | 無 し | | 新制度の創設に伴い、その制度の推進と周知を行う。 |
| 120 | 認定農業者育成事業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 未実施 | 21 | C | 縮小 | | 有 り | | 縮小 | 予算額 | 有 り | 15 効果の 検証 | 認定農業者による経営規模拡大・経営の安定と農地保全の観点から事業の継続は必要である。一律の補助といった交付内容について検討する必要がある。 |
| 121 | 地産地消(ふるさとランチ、米 飯給食拡大に関すること) | 教育企画課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 23 | B | 拡大 | | 有 り | 4 市民の多 様な力の 活用 | 継続 | | 有 り | 4 市民の多 様な力の 活用 | 活用率を上げるためには、地場産物の供給体制を強化する必要がある。また、この事業により、食に対する正しい理解と地域の自然、食文化等について理解を深められるような取り組みも密要となる。 |
| 122 | 果実・野菜支援対策事業(販 売野菜等ハウス導入支援事 業) | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 無 し | | 継続 | | 有 り | 15 効果の 検証 | 生産活動が継続されているか等の事業の効果を検証し、今後の制度を検討すべきである。 |
| 123 | 特殊農法チャレンジトライ支援 事業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無 し | | 継続 | | 有 り | 14 成果の 向上 | 環境保全型農業を推進していくことは必要であり、事業の効果を検証し内容の検討を行う。 |
| 124 | 農産物加工チャレンジ事業補 助金 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 無 し | | 継続 | | 有 り | 10 内容の 改善 | 地域の活性化につながる特産品の開発を継続して実施する。 |
| 125 | 農林業知的財産登録支援事 業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 24 | B | 終了 | | 無 し | | 終了 | | 有 り | 15 効果の 検証 | 効果を検証し、制度の内容を検討する。 |
| 126 | 中山間地域等直接支払交付 金 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 無 し | | 終了 | | 有 り | 14 成果の 向上 | 耕作放棄地の防止の取り組み、集落での共同活動が実施されるなど効果も見られる事業である。各集落の取り組み内容を検証し、制度が継続された場合には、集落の協定書等の作成に対して必要な助言を行う。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|-------------------------|-----|----------|------------|------------|---------|---------|----------------|-------------|----------------|--------------|----------------|-------------|----------------|--------------|---|
| 127 | 森林整備地域活動支援交付金 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 森林施業と地域活動の結び付きを市民に啓発が必要。 |
| 128 | さと山再生プロジェクト | 農政課 | 産業 経済 | 未実施 | 拡大 | 21 | C | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 市民への事業内容の周知と、多くの市民を巻き込んでさと山再生活動(森林の整備など)を行える体制の整備が必要である。 |
| 129 | 民有林境界確定支援事業 | 農政課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 境界が分かる山林所有者が高齢化しており、境界の明確化は将来、森林の整備等の事業を実施するをする上でも必要な業務で、今後も継続して実施する必要がある。 |
| 130 | 鳥獣被害防護柵設置事業(集落・個人対策) | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 拡大 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 有害鳥獣による農作物被害に対しては、駆除班による駆除だけでは限界があるため、里山の整備、耕作放棄地の復旧といった事業とのあわせて実施するなどの対策が必要。 |
| 131 | 環境貢献林整備事業 | 農政課 | 産業 経済 | 未実施 | 拡大 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 市民への制度及び事業の効果の周知を行う。 |
| 132 | みよしの森づくり事業 | 農政課 | 産業 経済 | | | 22 | B | 継続 | | 有り | 18 受益と負担の適正化 | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 市民提案事業については計画内容について助言し、適正な事業実施と効果的な森林整備につなげる必要がある。また、事業自体の認知度を高めるため普及啓発を行っていく。 |
| 133 | 耕作放棄地復興チャレンジモデル事業(一般復興) | 農政課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 23 | B | 縮小 | 予算額 | 無し | | 縮小 | 予算額 | 有り | 10 内容の改善 | 耕作放棄地の解消のため引き続き本事業を実施する。 |
| 134 | 小規模農業基盤整備事業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 有り | 17 コストの削減 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 一定の基準を設けて整備をする必要がある。 |
| 135 | 新農業水利システム保全対策事業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 24 | B | 終了 | | 無し | | 終了 | | 有り | 15 効果の検証 | 効果を検証し、継続する場合は制度の内容を検討する。 |
| 136 | 農地・水・環境保全向上対策 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 取り組み地区が増加したことにより、保全される農地も増加している。今後は取り組み効果の検証が必要。 |
| 137 | 三次市農村環境保全事業 | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 中山間直接支払制度及び農地・水・環境保全向上対策地域以外の農家等が対象に必要な事業である。今後は取り組み効果の検証が必要。 |
| 138 | 県営広域営農団地農道整備事業(備北西部地区) | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 終了 | 事業規模 | 無し | | 終了 | | 無し | | 今年度の全線開通に向け利活用方法を再検討する。 |
| 139 | 県営広域営農団地農道整備事業(備北南部地区) | 農政課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 計画的に事業を進める。 |
| 140 | 農道橋改修事業 | 農政課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 25 | B | 縮小 | | 有り | 17 コストの削減 | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 整備水準について、検証する必要がある。 |
| 141 | 有害鳥獣駆除対策事業(駆除班の活動支援) | 農政課 | 産業 経済 | 未実施 | 未実施 | 28 | A | 拡大 | 予算額 | 無し | | 拡大 | その他 | 有り | 10 内容の改善 | 有害鳥獣による農作物被害は増加しており駆除依頼は今後も増加が予想され、担当課の記入にもあるように活動費も増加すると思われる。駆除班員の高齢化、後継者不足への対応も今後検討する必要がある。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|------------------------|-------|----------|------------|------------|---------|---------|----------------|-------------|----------------|------------------|----------------|-------------|----------------|------------|--|
| 142 | 空店舗対策事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 18 受益と負担 の適正化 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 利用しやすい制度としての見直しと、ある程度地域を限定とした制度とすることも検討する必要がある。 |
| 143 | 工場立地推進事業 | 企業誘致課 | 産業 経済 | 事業拡大 | 拡大 | 27 | A | 拡大 | 事業規模 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 15 効果の検証 | 企業誘致は、就労の場の確保、人口増加などの施策において重要な事業であるため、積極的な企業誘致活動、三次のアピールを実施していく必要がある。 |
| 144 | 構造改革IT調査事業 | 企業誘致課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 23 | B | 拡大 | 事業規模 | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 本市の産業の活性化と新たな雇用を実現する事業であり、今後も人材育成、企業の設立につながる事業を実施していく。 |
| 145 | 空店舗チャレンジショップ運営 補助事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 定住対策としても効果があるため、要望にこたえられるよう事業を展開していく。 |
| 146 | 産学官連携事業 | 企業誘致課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 20 | C | 拡大 | 予算額 | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 学とのマッチングを進めていくうえで、効果の検証を行い、事業費についても必要に応じて見直しを行う。 |
| 147 | 経営革新・ベンチャー企業支 援事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 企業の経営革新・新創業への取り組みを支援するため、制度の周知を図り、推進していく。 |
| 148 | 住宅・店舗リフォーム資金補助 事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 事業の効果を検証しながら事業の内容及び継続実施を判断する必要がある。 |
| 149 | 商工業販路拡大支援事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 制度の周知を図り、利用を促進する。 |
| 150 | 中小企業融資支援制度設置 事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 景気の状態、ニーズに応じて制度の見直しが必要である。 |
| 151 | ヤングライフ快適事業 | 地域振興課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 協賛店も増加しており、今後も継続して実施し、若者へ向けた情報提供を充実させる必要がある。 |
| 152 | 就活サポート事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 定住対策、帰三意識の高揚につながる事業であり、継続して実施すべきである。 |
| 153 | 創造的ビジネス開発事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 未実施 | 未実施 | 16 | D | 廃止 | | 有り | | 縮小 | その他 | 有り | 10 内容の改善 | 制度内容を検証し、より利用しやすい制度となるよう改善する必要がある。また、補助上限額についても現行の1億円を1千万円程度とするよう見直すべきである。 |
| 154 | 小企業経営改善資金利子補 給事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 未実施 | 未実施 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 制度の周知を図るとともに、効果の検証も必要である。 |
| 155 | 勤労者生活安定支援事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 勤労者の暮らしや生活の安定を図るためにも、事業を継続するとともに制度の周知を図る。 |
| 156 | 匠伝承事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 事業拡大 | 継続 | 20 | C | 継続 | | 無し | | 縮小 | | 有り | 10 内容の改善 | 地元の技能のすばらしさ、ものづくりのおもしろさを体験し、関心を高めることにつながるよう、事業を展開していく必要がある。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|--------------------------|-------|----------|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|----------------|------------|-------------|----------------|----------|--|
| 157 | ジョブカフェMIYOSHI事業 | 地域振興課 | 産業 経済 | 未実施 | 継続 | 29 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | | | 若者を三次へ呼び戻すとともに、元気な企業の育成のためにも継続して実施する必要がある。 |
| 158 | 帰三促進事業 | 地域振興課 | 産業 経済 | 未実施 | 未実施 | 29 | A | 拡大 | | 無し | | 継続 | | | | 若者を三次へ呼び戻すとともに、元気な企業の育成のためにも継続して実施する必要がある。 |
| 159 | 創業支援等融資事業 | 商工観光課 | 産業 経済 | 未実施 | 未実施 | 25 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの 向上 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 制度内容を検証し、より利用しやすい制度となるよう改善も必要である。 |
| 160 | ワーク・ライフ・バランスの推進 に関する事 | 育児支援課 | 産業 経済 | 継続 | 終了 | 26 | B | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 市内の企業に仕事と子育てが両立できる環境づくりを推進するため、企業への子育て支援と、企業の意識改革に向けた取り組みを検討する必要がある。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|--------------------|-------|----|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|--------------|------------|-------------|----------------|--------------|---|
| 161 | 環境クリーンフェスタ | 環境政策課 | 環境 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 環境に対する意識は高まりつつある。さらなる環境意識の向上の場、行動するきっかけとなるイベントになるよう効果的な手法、企画をしていく必要がある。 |
| 162 | 環境審議会に関する事務 | 環境政策課 | 環境 | 現状維持 | 未実施 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 審議会において積極的な意見をいただき、常に見直しを進める。 |
| 163 | 不法投棄防止対策パトロール事業 | 環境政策課 | 環境 | 未実施 | 未実施 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | パトロールの実施については、庁内の協力体制の構築も必要であるが、市内全域をパトロールするには、自治会との連携や、不法投棄を「しない・させない・許さない」といった意識の醸成への取り組みも必要。 |
| 164 | 三次市学校版ISO14001推進事業 | 環境政策課 | 環境 | 未実施 | 拡大 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 教育委員会と連携し、小・中学校での三次市学校版環境ISO14001の実践を推進していくことが必要。 |
| 165 | ISO14001推進事業 | 環境政策課 | 環境 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 組織的な環境負荷低減の取組を継続する必要がある。これまでの取り組みを検証するとともに、研修等による職員の環境意識の更なる向上に取り組む。 |
| 166 | 生ごみ処理機器購入補助金 | 環境政策課 | 環境 | 要改善 | 要改善 | 26 | B | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 燃やせるごみ量(生ごみ)の軽減及び、ごみの資源化意識の高揚を図ることは重要である。利用者の実態調査の結果を活用し、補助率等の見直しを検討する。 |
| 167 | 買い物袋持参・ノー包装運動推進事業 | 環境政策課 | 環境 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | マイバッグ持参者も増加し、市民の関心も高くなっている。今後は県が提唱する「レジ袋有料化」へ向けた取り組みも必要である。 |
| 168 | 街角ECOステーション事業 | 環境政策課 | 環境 | 事業拡大 | 拡大 | 22 | B | 拡大 | その他 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 1 市民と行政の協働 | 住民自治組織や公衆衛生推進協議会等と連携し、全地域で自主的な取組となるよう推進する。 |
| 169 | 住宅用太陽光発電設備設置費補助金 | 環境政策課 | 環境 | 未実施 | 未実施 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 事業の周知を図り、住宅用太陽光発電システムの普及に取り組む。 |
| 170 | ペレットストーブ等設置補助金 | 環境政策課 | 環境 | 未実施 | 未実施 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 事業の周知を図り、ペレットストーブの普及に取り組む。 |
| 171 | 一般廃棄物集積場整備事業 | 環境政策課 | 環境 | 未実施 | 未実施 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 市民生活の環境整備として廃棄物飛散防止、収集業務の安全、迅速化にもつながる事業で、継続して取り組む必要がある。 |
| 172 | 消防ポンプ積載車更新 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 継続 | 20 | C | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 配置計画を勘案しながら、計画的な整備を行う。 |
| 173 | 水防事務 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 有り | 5 組織・機構の見直し | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 市民の生命と財産を守るために、水防事業については引き続き実施する必要がある。また、樋門操作員の確保にあたって、民間委託が可能であれば委託を検討する必要がある。 |
| 174 | 排水機場の維持管理 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 継続 | 26 | B | 拡大 | 予算額 | 有り | 7 施設の見直し | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 市民の生命と財産を守るために、排水機場の維持管理については引き続き実施する必要がある。また、老朽化した施設については、施設の更新、専門業者による点検の実施等を検討する必要がある。 |
| 175 | 防火水槽整備事業 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 拡大 | 24 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 7 施設の見直し | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 市民の生命と財産を守るため、計画的に整備を行う。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|-----------------------|-------|----|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|------------|------------|-------------|----------------|--------------|---|
| 176 | 防災行政無線等 | 危機管理課 | 環境 | 事業縮小 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | CATVは全市で開局となっており、音声告知への移行も含め、現在のシステムを検証し、新たなシステム構築の際に生かしていく。 |
| 177 | 消防格納庫整備事業 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 継続 | 20 | C | 継続 | | 有り | 7 施設の見直し | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 施設の状況を正確に把握し、計画的な整備を行う。 |
| 178 | 耐震改修助成事業 | 建築住宅課 | 環境 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 耐震診断及び耐震改修の更なる普及を図る必要がある。 |
| 179 | 子どもの安全支援事業 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 4 市民の多様な力の活用 | 地域住民と協力し、子どもへの安全支援を実施していく。 |
| 180 | 交通安全の推進 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 拡大 | その他 | 有り | 1 市民と行政の協働 | 交通事故のない安心安全なまちづくりは市民の願いでもあり、市や警察だけでなく、関係団体協働して、交通安全が市民の自発的な事業となるよう推進に努めていく。 |
| 181 | 消費生活情報整備体制事業・消費生活相談事業 | 市民生活課 | 環境 | 継続 | 継続 | 20 | C | 拡大 | 事業規模 | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 相談体制の充実を図るため、相談員研修等の専門性を高める必要がある。 |
| 182 | 防犯事業 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 防犯灯の設置だけではなく、啓発活動など地域での取組みを支援していく。 |
| 183 | 生活相談に関すること | 市民生活課 | 環境 | 未実施 | 未実施 | 22 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 相談体制の充実を図るため、庁内の連携を強化する必要がある。 |
| 184 | 消火栓新設 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 継続 | 29 | A | 継続 | | 有り | 7 施設の見直し | 継続 | | 無し | | 引き続き三次消防署、水道局と連携し、計画的な設置、維持管理を行う。 |
| 185 | 三次市民バス、デマンド型バス事業 | 地域振興課 | 環境 | 継続 | 継続 | 20 | C | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 高齢者の移動手段として、今後ますますニーズは高まると予想される。効率性、効果を検証しながら今後も事業を継続していく必要がある。 |
| 186 | 三次市民タクシー運行事業 | 地域振興課 | 環境 | 事業縮小 | 拡大 | 25 | B | 拡大 | その他 | 有り | 14 成果の向上 | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 交通空白地域においては、この制度は有効であり必要な事業であるため、今後も引き続き事業を実施するとともに、対象集落への周知・普及を図る。 |
| 187 | 都市計画道路 上原願万地線整備工事 | 都市整備課 | 環境 | 継続 | 拡大 | 29 | A | 拡大 | 事業規模 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 早期完成を目指し、事業を実施していく。 |
| 188 | 橋梁調査事業 | 土木課 | 環境 | 未実施 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 市民の安全を確保するため、継続して実施する必要がある。 |
| 189 | アダプト(道路・川の維持ボランティア)制度 | 土木課 | 環境 | 未実施 | 継続 | 16 | D | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 市道や市管理河川への制度の導入を検討する。 |
| 190 | 生活道路整備事業 | 土木課 | 環境 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 事業効果、市民のニーズを検証し、整備基準の見直しを行い、事業を継続して実施する。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 改善 性の 必要 性 | 改善 区分 | 2次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 改善 性の 必要 性 | 改善 区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|--------|-----|----|------------|------------|---------|---------|----------------|-------------|---------------------|----------|----------------|-------------|---------------------|------------|--|
| 191 | 県道改良事業 | 土木課 | 環境 | 継続 | 継続 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 引き続き、優先度を勘案しながら事業を計画的に実施する必要がある。 |
| 192 | 市道整備事業 | 土木課 | 環境 | 継続 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 引き続き優先度を勘案し、県道も含めた全体の整備を計画的に実施する必要がある。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度評価 | 20年度評価 | 合計点 | ランク | 1次総合評価 | 拡大・縮小内容 | 改善区分 | 2次総合評価 | 拡大・縮小内容 | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|------------------------|-------|----|--------|--------|-----|-----|--------|---------|------|------------|---------|--------------|--|
| 193 | 「ふるさと三次応援団」事業 | 地域振興課 | 都市 | 継続 | 拡大 | 27 | A | 継続 | | 無し | 継続 | | 14 成果の向上 | 定住促進のため、三次市の進める定住施策を積極的にPRしていく必要がある。 |
| 194 | 三次駅周辺整備事業 | 都市整備課 | 都市 | 継続 | 縮小 | 22 | B | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | | 9 事業の迅速化 | 計画的に事業を実施し、早期完成を目指す。 |
| 195 | 小規模崩壊地復旧事業 | 農政課 | 都市 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 無し | 継続 | | 8 事務事業の効率化 | 限られた予算の中で計画的に事業を進める。 |
| 196 | ホームページ運営 | 秘書広報課 | 都市 | 要改善 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 2 徹底した情報公開 | | 13 サービスの向上 | 誰が見てもわかりやすい、使いやすい画面構成を検討するとともに、携帯電話版ホームページの内容の充実に努める。 |
| 197 | 市広報紙の発行事業 | 秘書広報課 | 都市 | 未実施 | 未実施 | 28 | A | 継続 | | 無し | 継続 | | 10 内容の改善 | 広報紙は市民に最も身近で、基本的な媒体であるため、今後も分かりやすく、読みやすい広報紙づくりに努めるとともに、市の行政に関心を持ってもらえるような情報提供を行う必要がある。 |
| 198 | 地域イントラネット活用 | 秘書広報課 | 都市 | 要改善 | 継続 | 24 | B | 拡大 | | 無し | 継続 | | 13 サービスの向上 | 市民のニーズに対応したサービス提供につながる活用方法の研究・調査が必要と思われる。 |
| 199 | 電子自治体推進事業 | 秘書広報課 | 都市 | 継続 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | | 13 サービスの向上 | 各部署と連携して、手続き数の拡大に取り組む必要がある。 |
| 200 | 三次市CATV情報発信事業 | 秘書広報課 | 都市 | 要改善 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | | 13 サービスの向上 | CATVの特性を活かした番組づくりをすすめるとともに、各部署と連携し番組内容の充実に努める必要がある。 |
| 201 | 情報セキュリティ研修に関する事 | 秘書広報課 | 都市 | 未実施 | 未実施 | 21 | C | 継続 | | 無し | 継続 | | 6 職員の意識改革 | 職員一人ひとりの情報セキュリティ意識の高揚を図るために、研修内容の充実・強化を図る必要がある。 |
| 202 | 土地区画整理事業(三良坂駅前地区・下郷地区) | 都市整備課 | 都市 | 継続 | 縮小 | 16 | D | 縮小 | 事業規模 | 有り | 16 予算の見直し | 事業規模 | 16 予算の見直し | 地元との合意形成を図りながら、事業内容を精査する必要がある。 |
| 203 | 排水路新設改良事業 | 土木課 | 都市 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無し | 継続 | | 4 市民の多様な力の活用 | 計画的に整備を行う。管理等については、できるだけ地元で行えるようにする。 |
| 204 | 公営住宅ストック総合改善事業 | 建築住宅課 | 都市 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無し | 継続 | | 8 事務事業の効率化 | 優先順位を判断し、計画的に実施していく必要がある。 |
| 205 | 下水道接続普及促進事務 | 下水道課 | 都市 | 事業拡大 | 拡大 | 23 | B | 拡大 | 人員 | 無し | 拡大 | 人員 | 14 成果の向上 | 下水道の接続状況は、下水道の敷設そのものの必要性に係わってくることから、引き続き下水道法に則った積極的な加入促進を行いたい。 |
| 206 | 漏水調査・管路診断(上水道) | 水道課 | 都市 | 継続 | 継続 | 24 | B | 拡大 | 予算額 | 無し | 継続 | | 8 事務事業の効率化 | 漏水調査・管路診断を実施し、老朽管の計画的な更新、状況把握につながる本事業は、今後も継続して実施する必要がある。 |
| 207 | 簡易水道施設管理業務委託 | 水道課 | 都市 | 継続 | 継続 | 20 | C | 継続 | | 有り | 3 民間委託等の推進 | | 3 民間委託等の推進 | 効率的な事業を運営するため、引き続き外部委託に取り組む。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|--------------------------------|-------|----|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|-------------|------------|-------------|----------------|------------|--|
| 208 | 上水道施設整備事業(寺戸浄水場整備) | 水道課 | 都市 | 未実施 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 効率的な施設管理・運営ができるよう計画的に整備していく必要がある。 |
| 209 | 上水道施設管理業務委託 | 水道課 | 都市 | 継続 | 継続 | 21 | C | 継続 | | 有り | 17 コストの削減 | 継続 | | 有り | 3 民間委託等の推進 | 効率的な事業を運営するため、引き続き外部委託に取り組む。 |
| 210 | 飲用水供給施設補助事業 | 水道課 | 都市 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 水道事業計画区域以外において、安全な水の確保のため、事業の継続は必要である。 |
| 211 | 公共工事に伴う工事負担金 | 水道課 | 都市 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 有り | 17 コストの削減 | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 効率的な事業実施により、コストの削減が見込まれるため、今後も継続して実施する必要がある。 |
| 212 | 上水道整備事業 | 水道課 | 都市 | 継続 | 拡大 | 25 | B | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 安全な水の確保のため事業の推進は必要である。事業内容を精査し、効率のよい事業執行に努める。 |
| 213 | 台帳管理システム整備事業 | 下水道課 | 都市 | 継続 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 引き続き効率のよい事業実施を行う。 |
| 214 | 汚泥再生処理センター建設事業(し尿処理場) | 下水道課 | 都市 | 継続 | 拡大 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 終了 | | 無し | | 処理施設の建設については、年度内完成に向け事業を実施していく。尚、建設事業は終了するが跡地利用については公園として整備する等、継続して実施する。 |
| 215 | 公共下水道事業(三次・三良坂) | 下水道課 | 都市 | 事業拡大 | 継続 | 27 | A | 拡大 | 予算額 | 有り | 17 コストの削減 | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 効率的で計画的な整備を進めるとともに、下水道事業の効果を上げるため、引き続き工事説明において法に則った加入促進も行うことも必要である。 |
| 216 | 小型浄化槽設置整備事業補助金 | 下水道課 | 都市 | 要改善 | 拡大 | 26 | B | 拡大 | 予算額 | 有り | 16 予算の見直し | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 下水道等の計画のない地域の生活環境改善のため、積極的に事業を行っていくことが必要である。 |
| 217 | 浄化槽市町村整備推進事業 | 下水道課 | 都市 | 事業縮小 | 縮小 | 15 | D | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 縮小 | 事業規模 | 有り | 10 内容の改善 | 小型浄化槽設置整備事業補助金へ移行していただくことが望ましい。 |
| 218 | 特定環境保全公共下水道事業(酒屋・布野・吉舎・三良坂・甲奴) | 下水道課 | 都市 | 要改善 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 有り | 17 コストの削減 | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 効率的・効果的な手法で計画的な整備を進めるとともに、事業の効果を上げるため加入促進も行うことも必要である。 |
| 219 | 農業集落排水資源循環統合補助事業 | 下水道課 | 都市 | 現状維持 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 効率的・効果的な手法で計画的な整備を進めるとともに、事業の効果を上げるため加入促進も行うことも必要である。 |
| 220 | 斎場建設事業 | 環境政策課 | 都市 | 要改善 | 継続 | 27 | A | 拡大 | その他 | 無し | | 拡大 | その他 | 有り | 9 事業の迅速化 | 住民の意見を十分に尊重した上で、早期に建設していく必要がある。 |
| 221 | 地籍調査事業 | 管財課 | 都市 | 継続 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 有り | 5 組織・機構の見直し | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 現在の進捗率で勘案した場合、事業終了には期間を要することから、協力体制の構築等事業の効率化を検討する必要がある。 |
| 222 | 法定外公共物関係事務 | 管財課 | 都市 | 要改善 | 継続 | 23 | B | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 今後のデータの維持管理体制について検討する必要がある。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|-------------------|------------|----|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|------------|------------|-------------|----------------|------------|---|
| 223 | 居住空間リフレッシュ事業 | 地域振興課 | 都市 | 未実施 | 縮小 | 26 | B | 拡大 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 空き家バンクを利用した定住対策を推進する上で必要な制度である。今後は効果の検証を行い、制度の内容を実効あるものにしていく必要がある。 |
| 224 | 宅地購入奨励金・新築奨励金制度 | 地域振興課 | 都市 | 未実施 | 継続 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 他の定住対策と合わせて、積極的なPRを行う。 |
| 225 | 地域大学等連携事業 | 企画調整課 | 都市 | 未実施 | 未実施 | 22 | B | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 事業実施後の地域の取り組みを何らかのかたちでフォローし、今後の地域づくりに活かしてゆく必要がある。 |
| 226 | 土日窓口業務 | 市民生活課 | 都市 | 未実施 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 土日窓口業務は市民に定着しつつあり、また勤務等で平日来庁が困難な方にとっては大変好評な事業である。取扱い業務の拡大については、市民のニーズ、費用対効果を検証した上でを検討する必要がある。 |
| 227 | 水道営業業務委託 | 水道課 | 都市 | 事業拡大 | 拡大 | 24 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 3 民間委託等の推進 | 効率的な事業を運営するため、引き続き外部委託に取り組む。 |
| 228 | 公共事業再評価 | 企画調整課 | 都市 | 現状維持 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 2 徹底した情報公開 | 継続 | | 有り | 2 徹底した情報公開 | 専門性が高いためわかりやすい指標を活用するなどわかりやすい情報開示に努めるよう。 |
| 229 | 総合窓口(ワンストップサービス) | 市民生活課 | 都市 | 事業拡大 | 事業拡大 | 23 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 総合窓口としての機能を充実させるためには、職員の資質の向上、各部署との連携を強化する必要がある。 |
| 230 | 個別外部監査 | 監査事務局課 | 都市 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 2 徹底した情報公開 | 継続 | | 無し | | 請求があった際には、正確で迅速な事務処理によって住民サービスの向上に努める。 |
| 231 | 例月出納検査 | 監査事務局課 | 都市 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 今後も適正で効率的な事務が行われるよう、引き続き改善事項等を庁内掲示板等を利用して職員へ周知する。 |
| 232 | 主要事業提案 | 企画調整課 | 都市 | 現状維持 | 未実施 | 22 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 本市が掲げる主要事業や政策提案等の早期実現のためには必要な活動であり、今後も継続して実施する必要がある。実施にあたっては引き続き提案方法等を検討していく。 |
| 233 | 市政懇談会 | 秘書広報課 | 都市 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 協働のまちづくりを推進するためには必要な手段であるため、より多くの参加者を得て、多くの意見を聞くために、参加しやすい環境を整えるなどの工夫も必要であると思われる。 |
| 234 | みよしなるほど！出前講座 | 秘書広報課 | 都市 | 要改善 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 市の施策や事業のPRを行うことは、協働のまちづくりをすすめる上で非常に重要であり、今後も継続して実施する必要がある。 |
| 235 | 選挙啓発 | 選挙管理委員会事務局 | 都市 | 未実施 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 有権者の意思が正しく反映される選挙を行うための啓発活動は必要である。 |
| 236 | 「語ろう！明日の三次」“対話の日” | 秘書広報課 | 都市 | 未実施 | 未実施 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 協働のまちづくりを推進する上で、市民の方の声を直接聴く、市長と直接対話するといった機会があることは大変重要であり、今後も引き続き実施する必要がある。 |
| 237 | 職員研修 | 総務課 | 都市 | 継続 | 拡大 | 24 | B | 拡大 | 事業規模 | 無し | | 継続 | | 有り | 15 効果の検証 | 職員一人ひとりの資質向上のため、職員研修は継続するとともに、人材マネジメントのシステム作りも必要である。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次 総合 評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善 区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|------------------|-------|----|------------|------------|---------|---------|----------------|-------------|----------------|------------|----------------|-------------|----------------|------------|---|
| 238 | セクハラ防止 | 総務課 | 都市 | 継続 | 継続 | 19 | C | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 6 職員の意識改革 | 全職員対象の研修を行うなど、職員一人ひとりの意識改革に引き続き取り組む。 |
| 239 | メンタルヘルス | 総務課 | 都市 | 継続 | 継続 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 全職員を対象とした研修を実施し、メンタルヘルスに関する理解を深めるとともに、うつ病や過労の早期発見、病後回復後のサポート体制の充実を図る。 |
| 240 | 不当要求行為対策研修会 | 危機管理課 | 都市 | 未実施 | 未実施 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 6 職員の意識改革 | 継続的に研修会を実施することで、不当行為要求対策の周知徹底を図る。 |
| 241 | ISO9001の推進に関すること | 企画調整課 | 都市 | | | 18 | C | 縮小 | | 無し | | 縮小 | その他 | 有り | 11事務事業の統合 | 実施にあたっては、これまでに得たノウハウや手法を活かし、行政チェック等と融合させた市独自のシステムとする必要がある。 |
| 242 | 行財政改革の推進 | 企画調整課 | 都市 | 事業拡大 | 事業拡大 | 25 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 2 徹底した情報公開 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 6 職員の意識改革 | 限られた資源を有効活用していくよう徹底して推進していくことが必要である。そのためには行政評価等を活用した業務の精査とともに研修による職員の意識改革等が必要である。 |
| 243 | 文書管理 | 総務課 | 都市 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 文書の供覧・決裁のスピードアップだけでなく、情報公開請求等に迅速に対応できるよう今後も継続して、システムの操作・機能の向上、職員研修を継続して実施する必要がある。 |
| 244 | 財政状況の公表 | 財政課 | 都市 | 要改善 | 拡大 | 27 | A | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 引き続き分かりやすい広報となるよう、手法を研究する。 |
| 245 | 財政計画策定 | 財政課 | 都市 | 要改善 | 継続 | 28 | A | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 引き続き分かりやすい内容で公表していく必要がある。 |
| 246 | 申告相談業務 | 課税課 | 都市 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | サンデー申告の検証を行った上で、休日及び夜間窓口に相当する申告相談の必要性について検討する。併せて、会場及び日程についても引き続きに見直しを図る。 |
| 247 | 固定資産税土地評価業務 | 課税課 | 都市 | 継続 | 継続 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 公平な課税が最も重要なことであることから、的確な課税客体の把握と適正な賦課を行うことができるよう、事務の効率化を図る。 |
| 248 | 市税・国保税法的措置(差押業務) | 収納課 | 都市 | 事業拡大 | 拡大 | 26 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 税負担の公平化のためは法的措置は必要であるが、最終手段でもあるので、滞納者への早期対応など、担当者の横の連携や事務マニュアル化など統一した迅速な事務処理が必要である。 |
| 249 | コンビニ収納業務 | 収納課 | 都市 | 未実施 | 拡大 | 25 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | コンビニで収納する件数は増加していることから、住民サービスの向上と、収納率の向上につながっていると考えられる。今後は対象業務の追加についても検討していく必要がある。 |
| 250 | 工事検査 | 管財課 | 都市 | 事業拡大 | 拡大 | 23 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 適正な工事検査を行うとともに、外部委託可能な事務については委託を検討する。 |
| 251 | 入札・契約 | 管財課 | 都市 | 継続 | 拡大 | 25 | B | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 引き続き入札・契約については、透明性の確保・公正な競争の促進、情報の公表等に引き続き取り組んでいく必要がある。 |
| 252 | 公用車管理業務 | 管財課 | 都市 | 継続 | 縮小 | 21 | C | 縮小 | 事業規模 | 有り | 3 民間委託等の推進 | 縮小 | 事業規模 | 有り | 3 民間委託等の推進 | 民間委託が可能な事務については委託を検討する。 |

平成21年度 三次市行政評価 事務事業評価一覧 2次評価結果

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 必改 要善 性の | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|--------------------|-------|----|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|------------|------------|-------------|----------------|------------|---|
| 253 | 基金の管理計画 | 会計課 | 都市 | 継続 | 拡大 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 無し | | 引き続き情報収集に努め、安全性が担保される運用管理を実施していく必要がある |
| 254 | 収入支出資金運用計画 | 会計課 | 都市 | 事業縮小 | 継続 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 8 事務事業の効率化 | 今後も支出予定の早期把握に努め、効率的な資金管理を行う。 |
| 255 | 予算編成 | 財政課 | 都市 | 継続 | 未実施 | 28 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 予算についても、引き続き分かりやすい内容で公表していく必要がある。 |
| 256 | ふるさと納税 | 課税課 | 都市 | 未実施 | 未実施 | 23 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 制度の周知に合わせて市の施策をPRするなど、寄付者数を確保する手法について検討する必要がある。 |
| 257 | 三次市債権確保対策事業 | 収納課 | 都市 | 未実施 | 未実施 | 28 | A | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 税負担の公平化のため必要な行動であり、滞納者への早期対応にむけ多様な手法を検討する必要がある。 |
| 258 | 公売, ネット公売に関すること | 収納課 | 都市 | 未実施 | 未実施 | 24 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 継続 | | 有り | 9 事業の迅速化 | 税負担の公平化のためは法的措置は必要であり、差押物件の公売, インターネット公売は納税の促進という観点からも必要な手段でもあるので、今後も継続して実施する必要がある。 |
| 259 | 実施計画策定業務 | 企画調整課 | 都市 | 継続 | 未実施 | 22 | B | 継続 | | 有り | 2 徹底した情報公開 | 継続 | | 有り | 2 徹底した情報公開 | 主要事業(施策)を計画的・効率的に推進するためには必要であり、今後も継続して実施する。 |
| 260 | 主要施策の成果に関する説明書作成業務 | 企画調整課 | 都市 | 継続 | 未実施 | 22 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 引き続き市民に分かりやすく施策の取り組み結果について開示する。 |
| 261 | 議会だより編集 | 議会事務局 | 都市 | 未実施 | 未実施 | 27 | A | 継続 | | 無し | | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 引き続き分かりやすく、理解しやすい内容とする。 |

拡大・縮小・終了・廃止
(再掲)

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度評価 | 20年度評価 | 合計点 | ランク | 1次総合評価 | 拡大・縮小内容 | 改善性の有無 | 改善区分 | 2次総合評価 | 拡大・縮小内容 | 改善性の有無 | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|---------------------------|--------|------|--------|--------|-----|-----|--------|---------|--------|------------|--------|---------|--------|------------|---|
| 14 | 5歳児相談事業 | 育児支援課 | 子ども | 未実施 | 未実施 | 25 | B | 拡大 | 人員 | 有り | 13 サービスの向上 | 拡大 | 人員 | 有り | 10 内容の改善 | 早い段階での発見が適切な支援につながることから、研修等による保育士のスキルアップ、支援チーム等関係機関との連携と強化して事業展開を図る必要がある。 |
| 26 | 保育所耐震化診断 | 保育課 | 子ども | 未実施 | 未実施 | 26 | B | 拡大 | 事業規模 | 無し | 9 事業の迅速化 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 安全な施設で安心した保育を提供する必要がある、計画的に事業を進める必要がある。 |
| 31 | 小中学校リニューアル事業(耐震診断・補強・改築等) | 教育企画課 | 子ども | 未実施 | 拡大 | 28 | A | 拡大 | 人員 | 有り | 9 事業の迅速化 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 学校生活における児童・生徒の安全性の確保のため、早期の耐震化が必要である。 |
| 39 | 幼保小連携推進事業 | 学校教育課 | 子ども | 未実施 | 継続 | 22 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 14 成果の向上 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 14 成果の向上 | 幼稚園、保育所、小学校が連携することによって、幼児期からの一貫した支援体制を充実させ、子どもの健全な発育に努める必要がある。 |
| 74 | 高齢者福祉施設整備事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 29 | A | 継続 | | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 今後も、市が所有する遊休施設等を活用しながら、需要予測を行いつつ、施設の整備を行い、住み慣れた地域での生活の実現を目指す必要がある。 |
| 80 | 特定健診業務 | 保険年金課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 25 | B | 拡大 | 人員 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 受診率の向上を図るため、関係課との連携を強化する必要がある。 |
| 81 | 特定保健指導業務 | 保険年金課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 24 | B | 拡大 | 人員 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 受診率の向上を図るため、関係課との連携を強化する必要がある。 |
| 82 | 適正受診の訪問啓発指導事業 | 保険年金課 | 保健福祉 | 未実施 | 未実施 | 22 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 訪問指導にあたっては保健師と連携し、対象者に理解が得られる効果的な指導にする必要があるため、指導の内容についてスキルアップが必要。 |
| 89 | がん診療連携拠点病院事業 | 医事課 | 保健福祉 | 事業拡大 | 拡大 | 26 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 10 内容の改善 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 10 内容の改善 | 市民からのニーズも高いことから、地域医療機関とも連携し、患者にとって満足度の高い医療体制を確立する。 |
| 141 | 有害鳥獣駆除対策事業(駆除班の活動支援) | 農政課 | 産業経済 | 未実施 | 未実施 | 28 | A | 拡大 | 予算額 | 無し | | 拡大 | その他 | 有り | 10 内容の改善 | 有害鳥獣による農作物被害は増加しており駆除依頼は今後も増加が予想され、担当課の記入にもあるように活動費も増加すると思われる。駆除班員の高齢化、後継者不足への対応も今後検討する必要がある。 |
| 143 | 工場立地推進事業 | 企業誘致課 | 産業経済 | 事業拡大 | 拡大 | 27 | A | 拡大 | 事業規模 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 15 効果の検証 | 企業誘致は、就労の場の確保、人口増加などの施策において重要な事業であるため、積極的な企業誘致活動、三次のアピールを実施していく必要がある。 |
| 168 | 街角ECOステーション事業 | 環境政策課 | 環境 | 事業拡大 | 拡大 | 22 | B | 拡大 | その他 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 1 市民と行政の協働 | 住民自治組織や公衆衛生推進協議会等と連携し、全地域で自主的な取組となるよう推進する。 |
| 180 | 交通安全の推進 | 危機管理課 | 環境 | 継続 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 1 市民と行政の協働 | 拡大 | その他 | 有り | 1 市民と行政の協働 | 交通事故のない安心安全なまちづくりは市民の願いでもあり、市や警察だけでなく、関係団体協働して、交通安全が市民の自発的な事業となるよう推進に努めていく。 |
| 187 | 都市計画道路 上原願万地線整備工事 | 都市整備課 | 環境 | 継続 | 拡大 | 29 | A | 拡大 | 事業規模 | 無し | | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 早期完成を目指し、事業を実施していく。 |
| 205 | 下水道接続普及促進事務 | 下水道課 | 都市 | 事業拡大 | 拡大 | 23 | B | 拡大 | 人員 | 無し | | 拡大 | 人員 | 有り | 14 成果の向上 | 下水道の接続状況は、下水道の敷設そのものの必要性に係わってくることから、引き続き下水道法に則った積極的な加入促進を行われたい。 |

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 改善 性の 有無 | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 改善 性の 有無 | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|----------------------|-------|----|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|------------|------------|-------------|----------------|------------|---|
| 216 | 小型浄化槽設置整備事業補助金 | 下水道課 | 都市 | 要改善 | 拡大 | 26 | B | 拡大 | 予算額 | 有り | 16 予算の見直し | 拡大 | 事業規模 | 有り | 8 事務事業の効率化 | 下水道等の計画のない地域の生活環境改善のため、積極的に事業を行っていく必要がある。 |
| 220 | 斎場建設事業 | 環境政策課 | 都市 | 要改善 | 継続 | 27 | A | 拡大 | その他 | 無し | | 拡大 | その他 | 有り | 9 事業の迅速化 | 住民の意見を十分に尊重した上で、早期に建設していく必要がある。 |
| 242 | 行財政改革の推進 | 企画調整課 | 都市 | 事業拡大 | 事業拡大 | 25 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 2 徹底した情報公開 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 6 職員の意識改革 | 限られた資源を有効活用していくよう徹底して推進していく必要がある。そのためには行政評価等を活用した業務の精査とともに研修による職員の意識改革等が必要である。 |
| 248 | 市税・国保税法的措置 (差押業務) | 収納課 | 都市 | 事業拡大 | 拡大 | 26 | B | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 拡大 | 事業規模 | 有り | 9 事業の迅速化 | 税負担の公平化のためは法的措置は必要であるが、最終手段でもあるので、滞納者への早期対応など、担当者の横の連携や事務マニュアル化など統一した迅速な事務処理が必要である。 |

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度評価 | 20年度評価 | 合計点 | ランク | 1次総合評価 | 拡大・縮小内容 | 改善性の有無 | 改善区分 | 2次総合評価 | 拡大・縮小内容 | 改善性の有無 | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|-------------------------|--------|------|--------|--------|-----|-----|--------|---------|--------|------------|--------|---------|--------|------------|--|
| 23 | 女性キャリアアッププラン事業 | 育児支援課 | こども | 要改善 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 縮小 | その他 | 有り | 10 内容の改善 | 事業の周知方法については見直しが必要である。また、事業費に対する人件費の割合が高いため、事業の実施方法について改善が必要である。 |
| 30 | 中学校給食業務改善対策事業 | 教育企画課 | こども | 事業縮小 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 縮小 | その他 | 有り | 3 民間委託等の推進 | コスト削減と食育推進に取り組む。 |
| 51 | 地域トレーニング拠点整備事業 | 健康推進課 | 保健福祉 | 事業拡大 | 継続 | 22 | B | 継続 | | 無し | | 縮小 | その他 | 有り | 15 効果の検証 | 身近に運動できる環境の整備は必要であり、継続して取り組むとともに、利用実態の検証も必要である。 |
| 71 | 高齢者実態調査システム事業 | 高齢者福祉課 | 保健福祉 | 未実施 | 継続 | 24 | B | 継続 | | 有り | 13 サービスの向上 | 縮小 | その他 | 有り | | 災害時等の要支援者把握につながる体制の整備と、情報の更新・管理に対する対応が必要である。 |
| 111 | みよし運動公園整備事業 | 都市整備課 | 文化学習 | 事業拡大 | 縮小 | 26 | B | 継続 | | 有り | 14 成果の向上 | 縮小 | 事業規模 | 有り | 13 サービスの向上 | 県北のスポーツ・レクリエーション拠点施設であり、周辺施設と連携したイベント等の企画が必要。 |
| 120 | 認定農業者育成事業 | 農政課 | 産業経済 | 継続 | 未実施 | 21 | C | 縮小 | | 有り | | 縮小 | 予算額 | 有り | 15 効果の検証 | 認定農業者による経営規模拡大・経営の安定と農地保全の観点から事業の継続は必要である。一律の補助といった交付内容について検討する必要がある。 |
| 133 | 耕作放棄地復興チャレンジモデル事業(一般復興) | 農政課 | 産業経済 | 未実施 | 継続 | 23 | B | 縮小 | 予算額 | 無し | | 縮小 | 予算額 | 有り | 10 内容の改善 | 耕作放棄地の解消のため引き続き本事業を実施する。 |
| 153 | 創造的ビジネス開発事業 | 商工観光課 | 産業経済 | 未実施 | 未実施 | 16 | D | 廃止 | | 有り | | 縮小 | その他 | 有り | 10 内容の改善 | 制度内容を検証し、より利用しやすい制度となるよう改善する必要がある。また、補助上限額についても現行の1億円を1千万円程度とするよう見直すべきである。 |
| 156 | 匠伝承事業 | 商工観光課 | 産業経済 | 事業拡大 | 継続 | 20 | C | 継続 | | 無し | | 縮小 | | 有り | 10 内容の改善 | 地元の技能のすばらしさ、ものづくりのおもしろさを体験し、関心を高めることにつながるよう、事業を展開していく必要がある。 |
| 202 | 土地区画整理事業(三良坂駅前地区・下郷地区) | 都市整備課 | 都市 | 継続 | 縮小 | 16 | D | 縮小 | 事業規模 | 有り | 16 予算の見直し | 縮小 | 事業規模 | 有り | 16 予算の見直し | 地元との合意形成を図りながら、事業内容を精査する必要がある。 |
| 217 | 浄化槽市町村整備推進事業 | 下水道課 | 都市 | 事業縮小 | 縮小 | 15 | D | 継続 | | 有り | 10 内容の改善 | 縮小 | 事業規模 | 有り | 10 内容の改善 | 小型浄化槽設置整備事業補助金へ移行していただくことが望ましい。 |
| 241 | ISO9001の推進に関すること | 企画調整課 | 都市 | | | 18 | C | 縮小 | | 無し | | 縮小 | その他 | 有り | 11事務事業の統合 | 実施にあたっては、これまでに得たノウハウや手法を活かし、行政チェック等と融合させた市独自のシステムとする必要がある。 |
| 252 | 公用車管理業務 | 管財課 | 都市 | 継続 | 縮小 | 21 | C | 縮小 | 事業規模 | 有り | 3 民間委託等の推進 | 縮小 | 事業規模 | 有り | 3 民間委託等の推進 | 民間委託が可能な事務については委託を検討する。 |

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 改善 性の 必要 | 改善区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 改善 性の 必要 | 改善区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|----------------------------|----------|------|------------|------------|---------|---------|------------|-------------|----------------|------------|------------|-------------|----------------|----------|--|
| 20 | 新保育所建設事業 | 保育課 | こども | 未実施 | 拡大 | 26 | B | 拡大 | 事業規模 | 無し | 9 事業の迅速化 | 終了 | | 無し | | 早期完成を目指し、事業を実施していく。 |
| 114 | 戦略的農業経営シンクタンク設置事業 | 農政課 | 産業経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 終了 | | 無し | | 終了 | | 有り | 15 効果の検証 | 効果を検証し、制度の内容を検討する。 |
| 118 | 新規就農者受入拡大事業 | 農政課 | 産業経済 | 継続 | 継続 | 21 | C | 終了 | | 無し | | 終了 | | 有り | 15 効果の検証 | 効果を検証し、制度の内容を検討する。 |
| 119 | 農地保有合理化促進事業 | 農業委員会事務局 | 産業経済 | 継続 | 継続 | 26 | B | 終了 | | 有り | 11 事務事業の統合 | 終了 | | 無し | | 新制度の創設に伴い、その制度の推進と周知を行う。 |
| 125 | 農林業知的財産登録支援事業 | 農政課 | 産業経済 | 継続 | 継続 | 24 | B | 終了 | | 無し | | 終了 | | 有り | 15 効果の検証 | 効果を検証し、制度の内容を検討する。 |
| 126 | 中山間地域等直接支払交付金 | 農政課 | 産業経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 継続 | | 無し | | 終了 | | 有り | 14 成果の向上 | 耕作放棄地の防止の取り組み、集落での共同活動が実施されるなど効果も見られる事業である。各集落の取り組み内容を検証し、制度が継続された場合には、集落の協定書等の作成に対して必要な助言を行う。 |
| 135 | 新農業水利システム保全対策事業 | 農政課 | 産業経済 | 継続 | 継続 | 24 | B | 終了 | | 無し | | 終了 | | 有り | 15 効果の検証 | 効果を検証し、継続する場合は制度の内容を検討する。 |
| 138 | 県営広域営農団地農道整備事業 (備北西部地区) | 農政課 | 産業経済 | 継続 | 継続 | 25 | B | 終了 | 事業規模 | 無し | | 終了 | | 無し | | 今年度の全線開通に向け利活用方法を再検討する。 |
| 214 | 汚泥再生処理センター建設事業 (し尿処理場) | 下水道課 | 都市 | 継続 | 拡大 | 26 | B | 継続 | | 無し | | 終了 | | 無し | | 処理施設の建設については、年度内完成に向け事業を実施していく。尚、建設事業は終了するが跡地利用については公園として整備する等、継続して実施する。 |

| 番号 | 事務事業名 | 所管 | 分野 | 19年度 評価 | 20年度 評価 | 合計 点 | ラ ン ク | 1次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 改善 性の 必要 性 | 改善 区分 | 2次 総合評価 | 拡大・縮 小内容 | 改善 性の 必要 性 | 改善 区分 | 2次評価判断理由 |
|-----|--------------|-------|----------|------------|------------|---------|-------------|------------|-------------|---------------------|----------|------------|-------------|---------------------|----------------|---|
| 106 | 巡回啓発相談に関すること | 市民生活課 | 文化 学習 | 未実施 | 未実施 | 20 | C | 廃止 | | 無し | | 廃止 | | 有り | 8 事務事業の効 率化 | 出前講座などの開催に合わせて実施するなど、実施方法を検討し、巡回啓発相談は廃止を検討する。 |